

もしもに備える！公衆電話について学ぼう！

災害に強い、公衆電話

公衆電話は明治33年に上野駅と新橋駅の構内に初設置され、昭和59年には約93万台にまで普及しました。長年、誰もが有料で利用できるインフラとして私たちの生活を支えてきました。現在は設置数が大幅に減少しており、総務省のデータによれば令和7年3月時点では約9.6万台です。設置数が減少している一方で、非常時にはなお重要な通信手段としての役割を果たします。

東日本大震災時には、公衆電話の利用は前日比で急増しました。総務省のデータによれば、震災当日の公衆電話使用回数は、通常日の約15倍から20倍に達したとされています。地震により通信インフラが壊滅的な影響を受け、携帯電話や固定電話が通じにくくなる中、人々は安否確認や情報収集の手段として公衆電話を利用しました。

本現象は、非常時における公衆電話の重要性を改めて示しています。そこで万が一に備え、使い方を再確認してみましょう。

防災メモ持っていますか？

「わが家の防災メモ」は、災害時に家族の安否確認や避難方法を円滑に伝えるための1枚の案内です。普段から家族の連絡先と避難場所を整理しておくことをおすすめします。防災パンフレット「わが家の防災チェックBOOK」に掲載されています。配布場所は防災危機管理課・各特別出張所です。家庭での防災対策にご活用ください。詳しくは大田区HPをご覧ください（以下、参考です）。

わが家の防災メモ

火事・救急 119番	警察 110番	災害用伝言ダイヤル 171番	
災害用伝言ダイヤル171の使い方(NTT)			
1 7 1	→伝言を録音するときは [1] → 000-000-0000 → 伝言を残す 伝言を残した電話番号 (市外局番から)	→伝言を再生するときは [2] → 000-000-0000 → 伝言聞く 伝言を聞くための電話番号 (市外局番から)	
携帯電話災害用伝言板の使い方			
各区の公衆メニュー 専用アプリから発信 用伝言板アカウント	→伝言を登録する場合 →「登録」を選択して伝言を入力する	→「確認」を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る	
防災・ライフライン関係連絡先			
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
大田区役所	5744-1111	田園調布警察署	3722-0110
防災危機管理課及び担当	5744-1611	蒲田警察署	3731-0110
地域警備隊第一課 (大田北地区)	5764-0631	池上警察署	3755-0110
地域警備隊第二課 (西、桜台、羽田地区)	5713-2007	東京空港警察署	5757-0110
地域警備隊第三課 (南地区)	3726-4303	東京電力パワーグリッド	0120-995-007
大森消防署	3766-0119	東京ガスお客様センター	0570-002-211
田園調布消防署	3727-0119	NTT東日本116センター	116
蒲田消防署	3735-0119	東京水道局お客様センター	5326-1101
矢口消防署	3758-0119	東京都下水道局南部下水道事務所	5734-5031
大森警察署	3762-0110		
家族の連絡先			
家族の名前	連絡先(勤務先・学校など)	電話番号	携帯電話番号
避難先	一時集合場所	避難場所	避難所
UD FONT コニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいUD FONTを採用しています。			
令和5年3月 大田区防災情報看板実証実験 〒144-8621 東京都大田区東山田5-13-13 TEL 5744-1611 FAX 5744-1519 大田区ホームページ https://www.city.ota.tokyo.jp			



公衆電話使い方を再確認



矢口地区の設置場所を知ろう

災害時用公衆電話（特設公衆電話）はご存じですか。災害時等における通信手段を確保するために被災者等が無料で使用することができます。矢口地区には災害時用公衆電話が17個あります（令和6年3月時点）。自宅から近い設置場所を確認しておき、いざという時に備えましょう。

また矢口地区の通常の公衆電話の設置場所も合わせてご確認ください（詳しくは二次元コードから）。

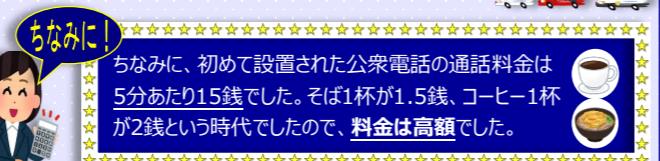
NTT東日本公衆電話設置場所検索

セブンイレブン大田区下丸子1丁目店	セブンイレブン大田区千鳥町駅東口店
矢口西小学校	セブンイレブン大田区千鳥町駅前店
矢口中学校	セブンイレブン大田区千鳥町駅東店
セブンイレブン下丸子多摩提通り店	セブンイレブン大田区千鳥2丁目店
セブンイレブン下丸子ガス橋通り店	千鳥小学校
セブンイレブン大田区下丸子3丁目店	セブンイレブン大田区矢口店
セブンイレブン大田区下丸子ガス橋通り店	セブンイレブン大田区矢口2丁目店
セブンイレブン下丸子駅前店	多摩川小学校
セブンイレブン大田区下丸子4丁目店	特設公衆電話 計17個

10円で何秒話せる？

国内宛の公衆電話は、10円で約56秒話せます。携帯電話宛は同じ10円で約15秒となります。100円硬貨を投入すると100円分の通話の分数に満たなくともおつりが出ないので注意しましょう。

また、大規模な災害や交通機関の事故等が発生した場合には被災者の通話を確保するため、公衆電話から発信する際の通話料等が無料となることがあります。ただし緊急通報（110番 無料）や119番などは災害時でなくてもいつでも無料です。



YBTは、矢口地区の防災情報紙として年2回発行予定です。

YBTでは、防災に関する最新情報や地域情報を掲載しますので、災害に備えてご活用ください。

略して
YBT

やぐち ぼうさい とーく Yaguchi Bousai Talk

～YBT第10号～

前回発行のYBT第9号（令和7年7月19日発行）では、水害時の内容を中心に紹介しました。YBT10号では、地震災害時の内容を中心に紹介します。バックナンバーはHPで見ることができます。



お手頃な値段で買えるもので非常用持ち出し袋を作ろう！

突然ですが、皆様は非常用持ち出し袋を準備していますか？非常用持ち出し袋は、災害発生時に迅速かつ安全に避難することができるよう必須のアイテムをまとめた防災セットです。地震・火災・台風・停電など、いつ起こるかわからない緊急事態に備え、最低限必要な物資をひとまとめにしておくことで、混乱の中でも冷静に行動することができるようになります。日頃から玄関付近など取り出しやすい場所に備えておくことが重要です。特に、高齢者や小さなお子様がいる家庭では、個別のニーズに合わせて内容物を調整しておくことで、避難生活の負担を大幅に軽減できます。非常用持ち出し袋は「もしも」に備える強い味方として、家族の安全と安心を守るために第一歩になります。そこで今回は、100円ショップやスーパーでお手頃に買えることができるアイテムを紹介したいと思います！

①圧縮タオル 20個入り（参考価格110円）



タオルは物をきれいにしたり体を拭いたりするなど様々な場面で重宝するのですが、そのまま入れるとかさばります。そんな時はこの“圧縮タオル”コンパクトに圧縮されているため何枚でも持ち運ぶことができます。



タオルに水をかけると、水に触れた瞬間からじわじわと膨れ上がり柔らかくなります。柔らかくなったタオルの水気を絞り広げれば使える状態になります。水で戻した直後はしつととした状態になります。乾かしたい状態で使用したい場合は日干しにしておくのがよいでしょう。



こちらが水で浸してほぐした状態のものになります。コンパクトだった塊が柔らかい布へと大変身しました。大きさは、縦26cm 横16cmとなります。個包装のため、衛生的で清潔を保ちたい場面でとても役に立つと思います。

③厚切り小倉ようかん（参考価格105円）



実はようかんは非常食にもってこいの和菓子なのです。その理由は常温で長期保存ができること、高カロリー・高糖質でエネルギー補給に最適なこと、小分け包装で持ち運びやすいこと、アレルギーリスクが比較的低いことなどが挙げられます。また、手を汚すことなく片手で食べることができる点もおすすめです。

④非常用給水バッグ（参考価格110円）

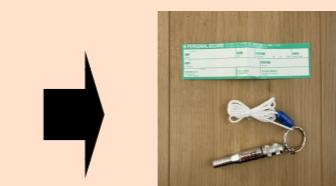


非常用給水バッグは災害時の水の運搬に最適な商品です。断水時や災害時に生活用水や飲料水を確保することができます。耐久性が高く、持ち運びに便利な持ち手がついています。折りたたむことができるのでコンパクトに持ち運びができます。そのため、日常的に保管しやすい点が特徴です。非常時の水不足に対する不安を軽減できます。



実際に袋に水を入れてみました。最大水位は5Lとなっています。水量がわかるメモリがついているので必要な分だけ持ち運びができます。日付や名前を書くスペースもありました。

②非常用呼子笛（参考価格110円）



非常用呼子笛は、災害時や緊急時に自分の居場所を周囲に知らせ、救助を促すための小型の安全グッズです。声を出し続けるより体力の消耗が少ないと言われています。鳴らしてみると、大きく澄んだ音が遠くまで届くような商品だとわかりました。また、付属として右側の写真にもあるとおりIDカード（氏名や住所などを記入する紙）をいれておくことができます。そのため、緊急時の情報伝達や身元確認用としても使えます。

⑤災害備蓄用ライト（参考価格110円）



火や電気は不要です！発熱もしないので安心安全に使えます。長時間発光で24時間明るさを保ってくれます。



一時集合場所とは！？

 地震や火災などの災害が発生した直後に住民が安全を確認し合い、状況を把握するために一時に集まる場所です。自宅周辺での安否確認や初期消火、避難行動の判断を行う拠点として重要な役割を果たします。主に公園、広場、自治会館前、学校の庭など、比較的安全で見通しの良い場所が指定されます。一時集合場所は、長時間滞在する場所ではなく、危険が迫った場合や避難指示が出た場合には、避難場所へ速やかに移動します。家族や近隣住民と事前に場所を確認し、災害時には落ち着いて行動することが大切です。また高齢者や子ども、障がいのある方への声かけや支援を行う場としても活用され、地域の助け合いを支える重要な防災拠点です。

災害時給水ステーション



地震や台風、豪雨などの災害によって断水が発生した際に、住民へ安全な水を供給するために設けられる給水拠点です。耐震性貯水槽や給水車を活用して飲料水や生活用水が配布されます。水は生命維持に欠かせないため、給水ステーションは災害時の重要なラインの一つです。利用する際は、ペットボトルやポリタンク、給水袋などの給水容器を各自で持参し、係員の指示に従って順番を守りながら給水を受けます。混雑時には譲り合いが求められ、高齢者や障がいのある方への配慮も大切です。平常時から最寄りの給水ステーションの場所を確認し、家庭での備蓄と併せて備えておくことで、災害時の安心につながります。

災害時給水ステーションを利用するにあたりよくある質問(Q&A)

Q : 災害時給水ステーションは、休日や夜間でも開設されるのですか？

A : 净水場や給水所などの水道施設については、夜間や休日であっても開設することができるよう体制を整えています。

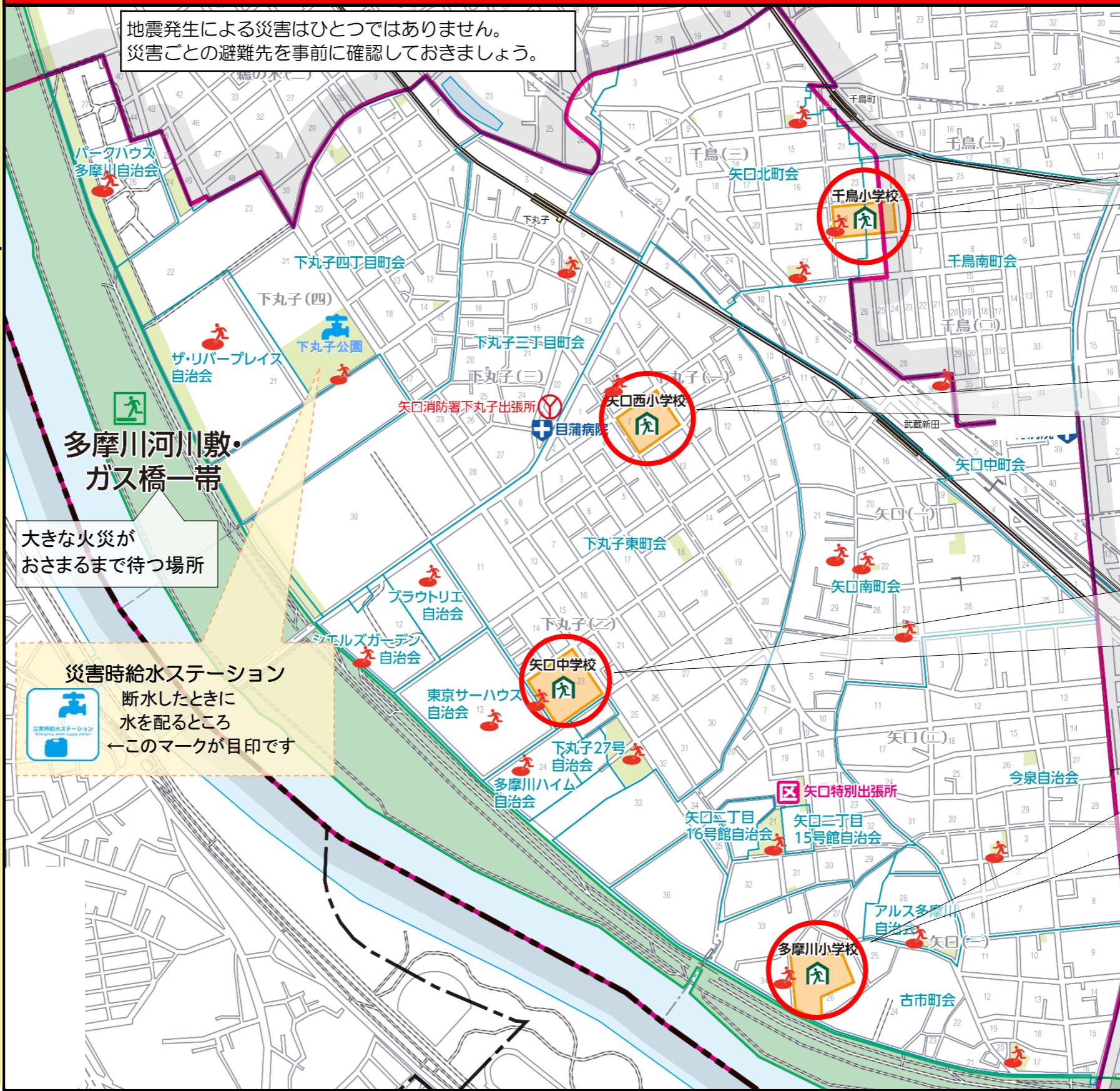
Q : 災害時給水ステーションの開設状況はどのような方法で教えてもらえますか？

A : 水道局HPや東京都水道局アプリのほか、水道局の各庁舎の掲示物、拡声器付広報車、水道局が配布するビラ等で情報をお知らせします。また、在京ラジオ局の放送や区市町による広報もご確認ください。

Q : 容器は、どのようなものを持っていけばよいですか？

A : 前提として、給水される水の量は一人当たり3リットルです。水は重いので、背負えるタイプの給水袋や、空のペットボトルやポリタンクを入れることができるリュックサックなどをご用意してください。

地震災害時 防災マップ



自宅が危険な場合の避難先は自治会町会ごとに決まっています。

指定の避難所

千鳥小学校

- 矢口北町会
- 矢口中町会
- 千鳥南町会

矢口西小学校

- 下丸子三丁目町会
- 下丸子四丁目町会
- パークハウス多摩川自治会
- ザ・リバープレイス自治会

矢口中学校

- 矢口南町会
- 下丸子東町会
- 下丸子27号自治会
- 多摩川ハイム自治会
- プラウトリエ自治会
- シエルズガーデン自治会
- 東京サーハウス自治会

多摩川小学校

- 今泉自治会
- 古市町会
- 矢口二丁目15号館自治会
- 矢口二丁目16号館自治会
- アルス多摩川自治会

津波一時避難施設

- 津波から安全に避難する時間がないときに逃げ込むところ
- 矢口西小学校
 - 矢口中学校
 - 多摩川小学校
 - 都営住宅